

登録区分	入院	外来
------	----	----

## プロトコール名

悪性リンパ腫－Epcoritamab (2-3サイクル)
------------------------------

1. 適応疾患：抗 CD20 モノクローナル抗体製剤を含む少なくとも 2 つの標準治療が施行された、再発/難治性大細胞型 B 細胞リンパ腫または濾胞性リンパ腫

## 2. 投与量と投与スケジュール

薬剤名	投与スケジュール								
	1	…	8	…	15	…	22	…	28
投与方法・投与量 (day)									
Epcoritamab (エプキンリ) 48 mg/body/日 (皮下注)	●		●		●		●		

〈投与方法〉 28 日間を 1 コースとする

〈評価方法〉 末梢血、CT

〈併用レジメン〉 なし

〈上限クール〉 なし

Day1, 8, 15, 22

投与順	薬剤名と投与量	投与方法	ペース
①	ソリタ T3 500mL	点滴	1 時間
②	エプキンリ 48mg	皮下注射	ゆっくり

Day1-4, 8-11, 15-18, 22-25 (内服)

※前回投与时後に Grade2 以上の CRS が出現した場合、必要に応じて。

投与順	薬剤名と投与量	投与方法	ペース
①	デカドロン(4mg) 4T	内服	分 2(朝・昼)

CRS 発現時のトシリズマブ(アクテムラ®)投与量について

トシリズマブ 8mg/kg を 1 時間かけて点滴静注(1 回 800mg を超えないこと)。

(体重 30kg 未満は 12mg/kg)

8 時間以上経過後に再投与(24 時間以内に最大 2 回)可能

※以下、適正使用ガイドより

- Grade1 では、高齢、高腫瘍量、循環腫瘍細胞、解熱剤で回復しない発熱などの特定の場合、トシリズマブを投与。8 時間以上経過後の再投与は症状に応じて考慮。
- Grade2 以上ではトシリズマブを投与後、8 時間以上あけて再投与する。

処方例 (投与量は以下の表を参照)

医師セットを使用

薬剤名と投与量	投与方法	ペース
CRS アクテムラ _____mg 生食 100mL ※インラインフィルターを使用する	点滴	15 分間 10ml/h 以後 100ml/h
生食 50mL	点滴	ルート確保用 残りをアクテムラと同じ ペースで

トリスマブオーダー時の投与量・バイアル換算表

体重(kg)	トリスマブ投与量(mg/回)	オーダー時のバイアル数
30	240	80mg × 3V
~35	241-280	80mg × 1V 200mg × 1V
~40	281-320	80mg × 4V
~45	321-360	80mg × 2V 200mg × 1V
~50	361-400	400mg × 1V
~55	401-440	80mg × 3V 200mg × 1V
~60	441-480	80mg × 1V 400mg × 1V
~65	481-520	80mg × 4V 200mg × 1V
~70	521-560	80mg × 2V 400mg × 1V
~75	561-600	200mg × 1V 400mg × 1V
~80	601-640	80mg × 3V 400mg × 1V
~85	641-680	80mg × 1V 200mg × 1V 400mg × 1V
~90	681-720	80mg × 4V 400mg × 1V
~95	721-760	80mg × 2V 200mg × 1V 400mg × 1V
~100	761-800	400mg × 2V